

《地方公共団体職員向けのプログラム》

カリキュラム名	概要
オリエンテーション	我々の生活や地域が地理空間情報に取り囲まれており、その情報の活用方法を習得することは、地域を対象にする自治体職員全員に係るテーマであることを理解する。特に、これまで記録や検索など、便利な道具としての使い方から、政策立案や課題解決に向けた社会技術の一つとしての使い方を学習する。
地理空間情報の提供・流通促進と法制度	「地理空間情報活用推進基本法」の理念、「地理空間情報活用推進基本計画」が示す目指すべき姿、それを踏まえた国の取組状況について学ぶ。次に、地理空間情報の提供・流通促進の意義について理解を深めるとともに、その際に発生しうる個人情報保護・知的財産権の権利処理などの問題及びそれに対処するための基本的な考え方について学ぶ。
GIS活用による業務改革とプロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント等の考え方や手法を活かしつつ、地方公共団体におけるGIS活用方策と組織・体制のあり方について、講義及びディスカッションにより学ぶ。
GISのシステムデザイン	一般的に、庁内に於けるGIS構築は個別業務の大規模システム(対5大業務)として導入されている。その他一般の業務従事者にとって、GISはプロの物、コストが掛かるもの、自分たちとは無縁の物と考えられている。これら「統合型GIS」の障害をどう克服するかという問題を通して、GISのシステムデザインを考える。又、後半のケーススタディでは新潟の中越沖地震の例で、住民・自治体職員それぞれの立場での情報に対する対応、平常時からの情報に対する準備、等を考え業務改革に対する問題認識について考察する。
地理空間情報の調達と利用	地理空間情報の調達とは何かを共通認識し、国による地理空間情報の整備・流通・共用に関する施策を踏まえ、自治体業務内における地理空間情報の利活用を想定しながら、主として自治体内で地理空間情報相互利用を図るための共用基盤データ調達を学ぶ。
GPS等を用いたオリジナルな地理空間情報の作成	利用可能な既成の地理空間情報の概要を紹介した上で、オリジナルな地理空間情報をGPS等で収集し、GISで利用するための手順を学習する。
GISを用いたマッピングと分析	地方自治体の業務への応用を想定しながら、種々の地理空間情報を組み合わせてGISで処理し、地図化する方法とその際の留意点について、演習形式で学習する。
GISを活用した評価マップの作成	ロールプレイングのGIS演習を通して、GISを用いた政策の立案・評価のプロセスや住民の合意形成方法を教授する。
ラップアップ	プログラム全体を振り返り、授業内容に関する評価を行うと同時に、プログラム終了後の業務や日常生活への活用方法等をとりとめる。

《G空間事業者向けのプログラム》

カリキュラム名	概要
オリエンテーション	我々の生活や地域が地理空間情報に取り囲まれており、その情報の活用方法を習得することは、地域を対象にする自治体職員全員に係るテーマであることを理解する。特に、これまで記録や検索など、便利な道具としての使い方から、政策立案や課題解決に向けた社会技術の一つとしての使い方を学習する。
地理空間情報の提供・流通促進と法制度	「地理空間情報活用推進基本法」の理念、「地理空間情報活用推進基本計画」が示す目指すべき姿、それを踏まえた国の取組状況について学ぶ。次に、地理空間情報の提供・流通促進の意義について理解を深めるとともに、その際に発生しうる個人情報保護・知的財産権の権利処理などの問題及びそれに対処するための基本的な考え方について学ぶ。
GIS活用による業務改革とプロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント等の考え方や手法を活かしつつ、地方公共団体におけるGIS活用促進のため、地方公共団体におけるGIS活用の基本的なあり方や、庁内職員・各部門とG空間事業者との的確な協働・連携のあり方について、特にG空間事業者の視点から学ぶことを目的とする。
地理空間情報の調達と利用	地理空間情報の調達とは何かを共通認識し、国による地理空間情報の整備・流通・共用に関する施策を踏まえ、自治体業務内における地理空間情報の利活用を想定しながら、主として自治体内で地理空間情報相互利用を図るための共用基盤データ調達を学ぶ。
ラップアップ	今回のプログラム全体を振り返り、授業内容に関する評価を行うと同時に、プログラム終了後の業務や日常生活への活用方法等をとりとめる。